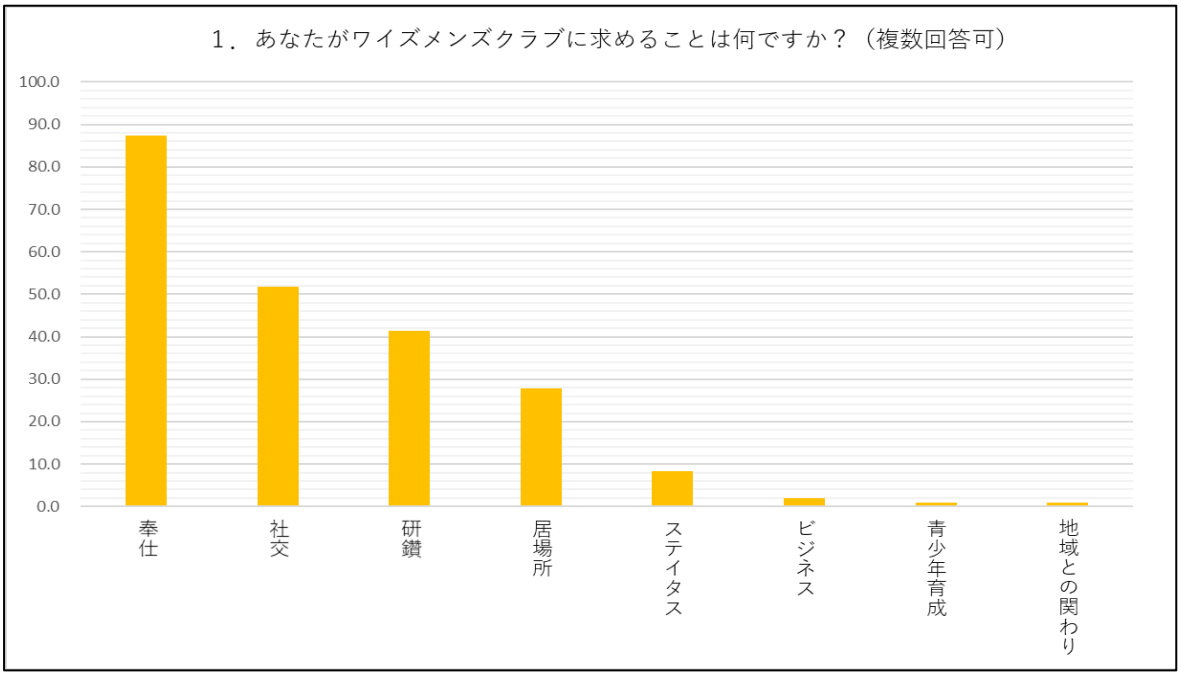
個人向けEMCアンケート

＜ワイズへのかかわり方の状況と満足度＞



＜その他の意見＞

尊敬できる人に出会える。活動を通し、達成感を得られる場所。

台湾からの研修生のホームステイ

人から学ぶ

宣教

YMCAの組織を側面から育成する事

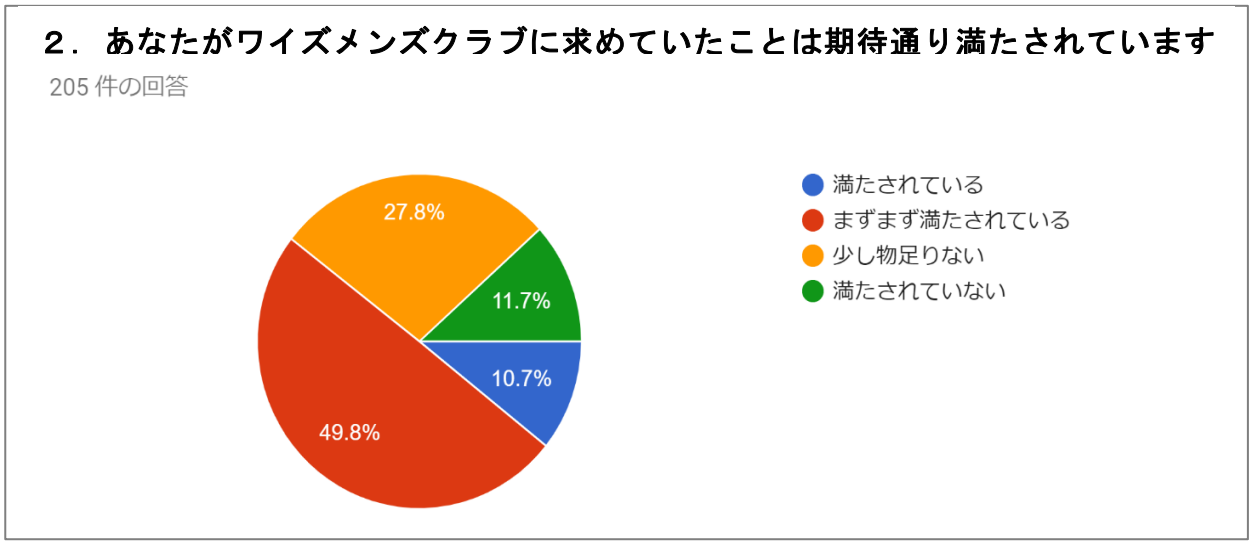
ミニバスケット大会。

信仰を深めるため。YMCAと教会の連携を強化すること。

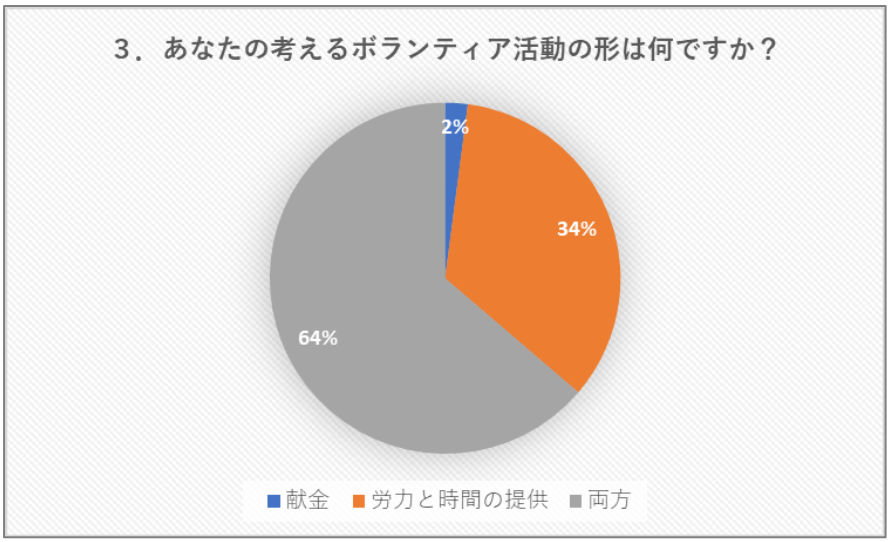
全国・全世界のネットワーク（社交を超えて）

YMCAイベントに参加して活動をスタッフと一緒に行う。

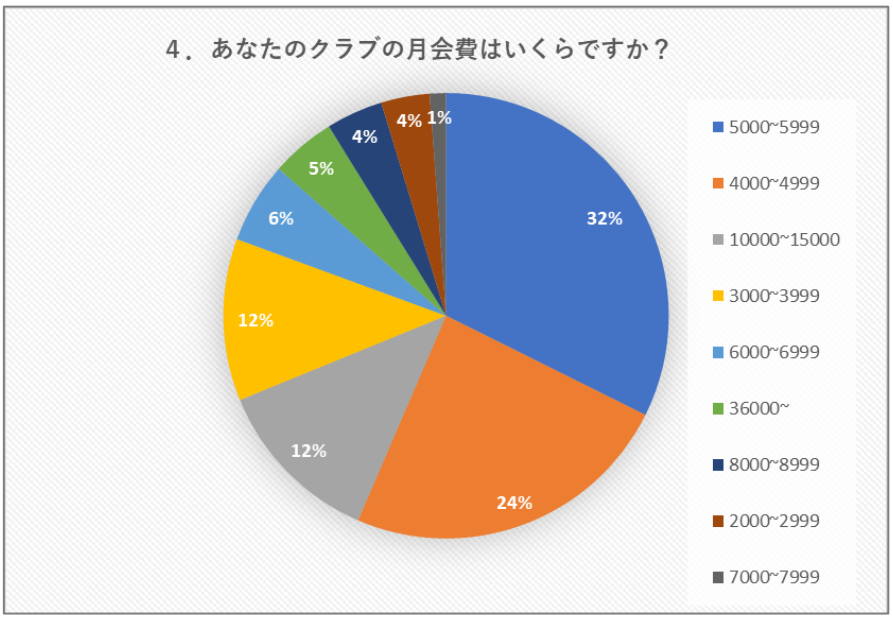
仲間・友達の意識

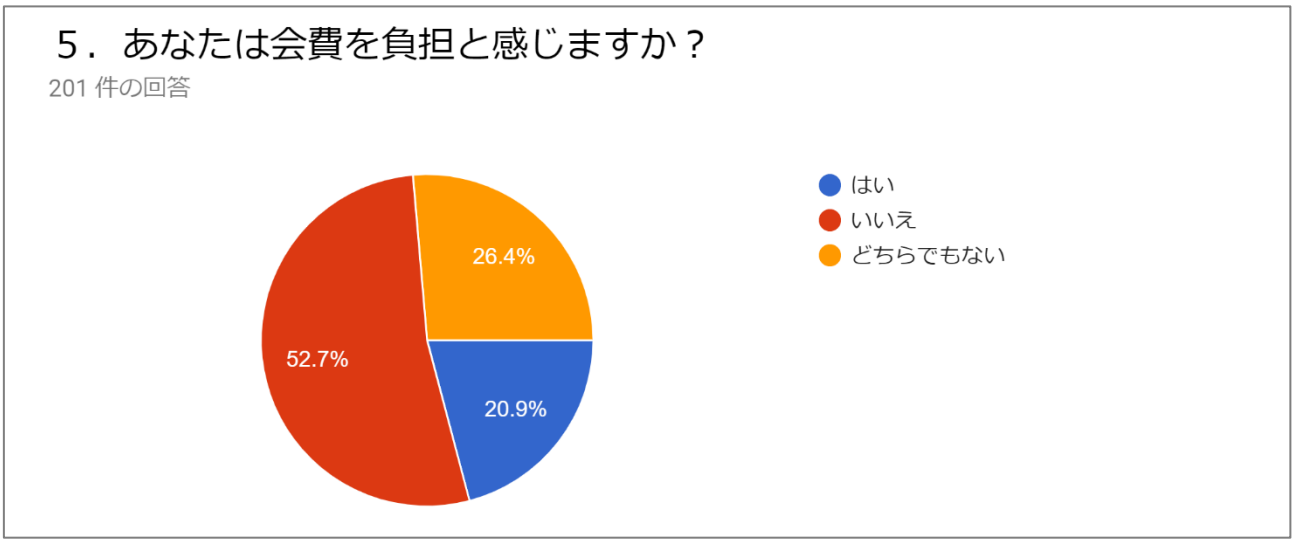


＜ボランティア活動に対する考え＞

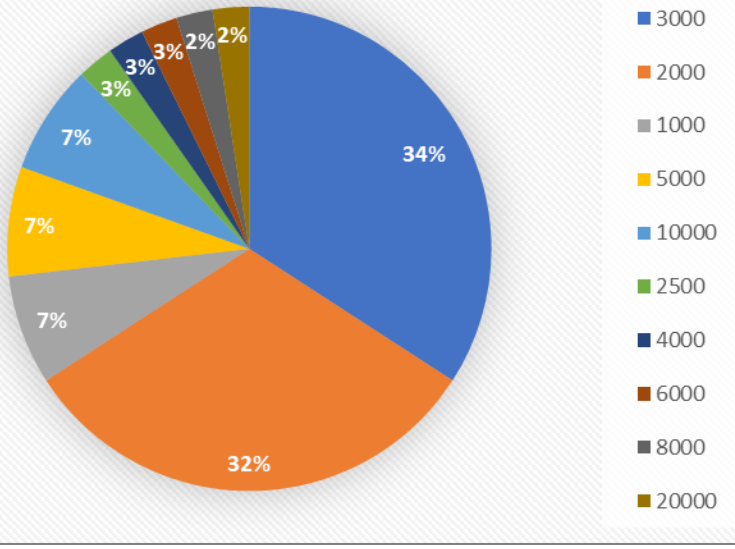


＜費用についての考え＞



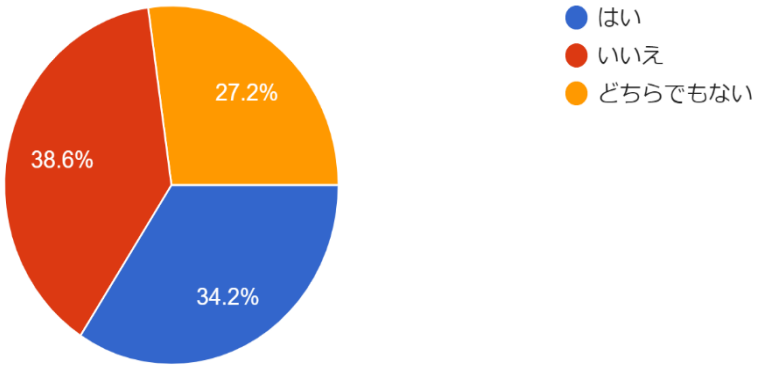


6．「はい」と答えた方にお尋ねします。いくらが望ましいですか？



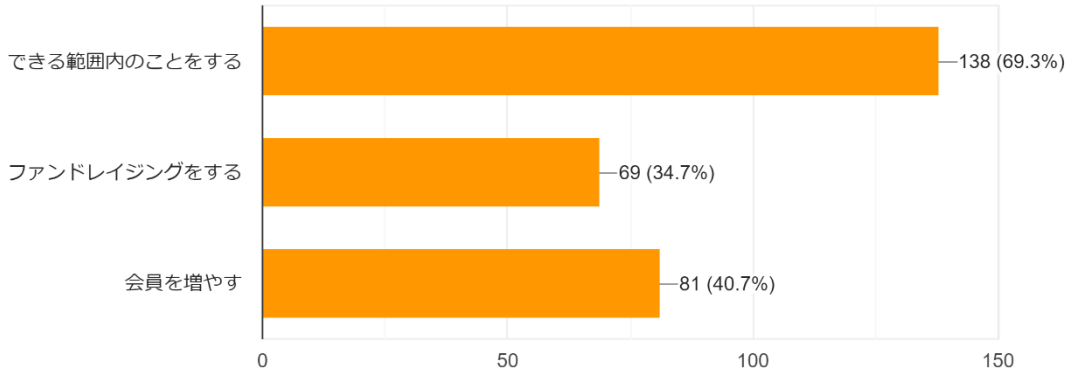
7．あなたは会費以外の出費（例えば寄付、献金、交通費、イベント参加費、チャリティーチケット代）を負担と感じますか？

202 件の回答



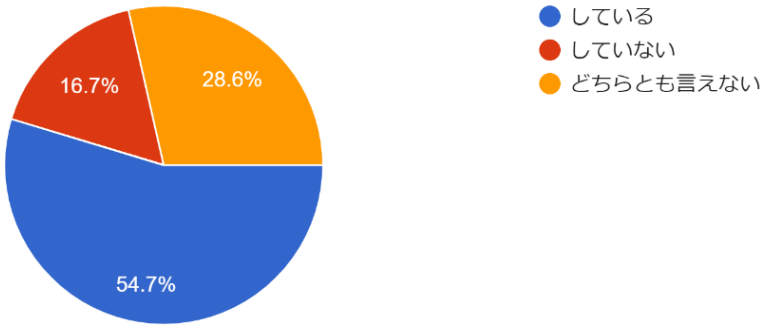
8．会費を増やせない場合、クラブの運営はどうしますか？（複数回答可）

199 件の回答



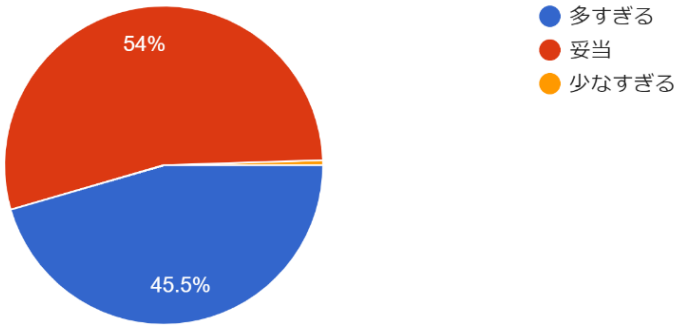
９．あなたは自分が納めた会費等の使途に納得していますか？

203 件の回答



10．あなたは今の献金制度、種類についてどう思いますか？

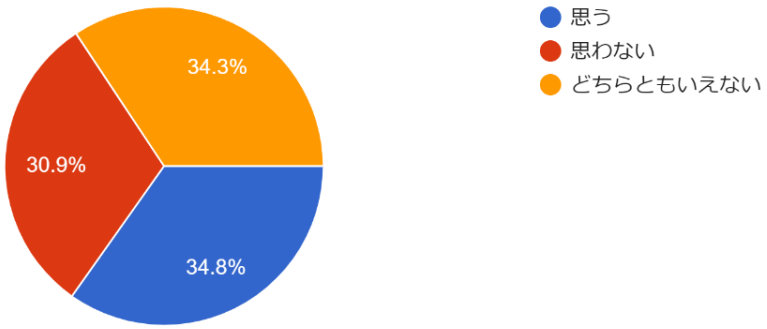
200 件の回答

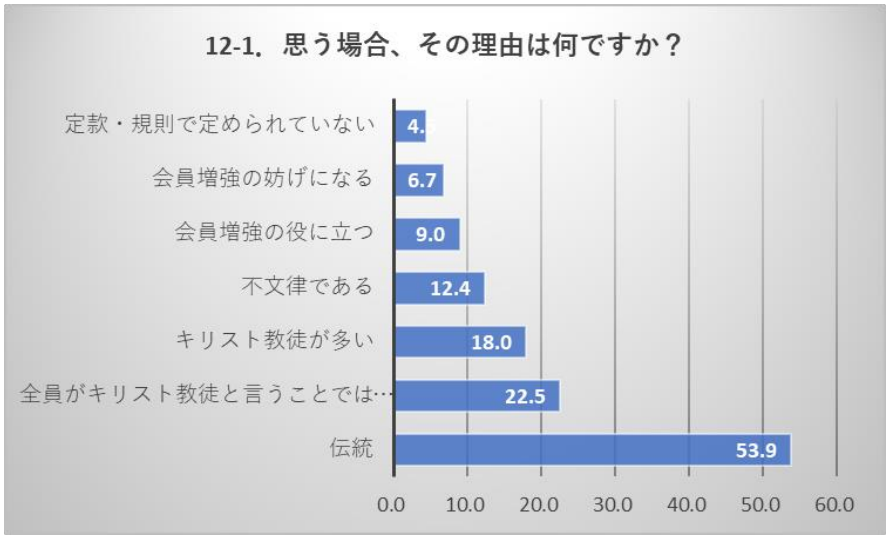


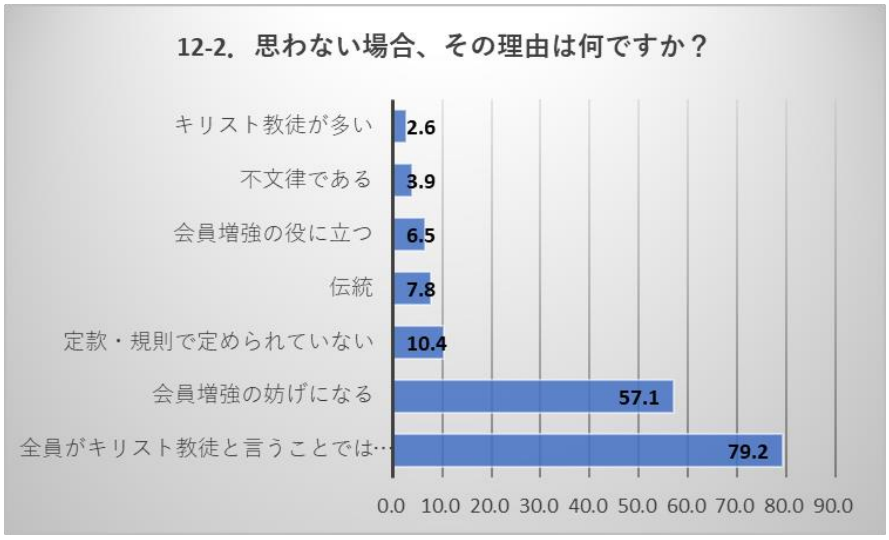
＜キリスト教の儀式に対する考え＞

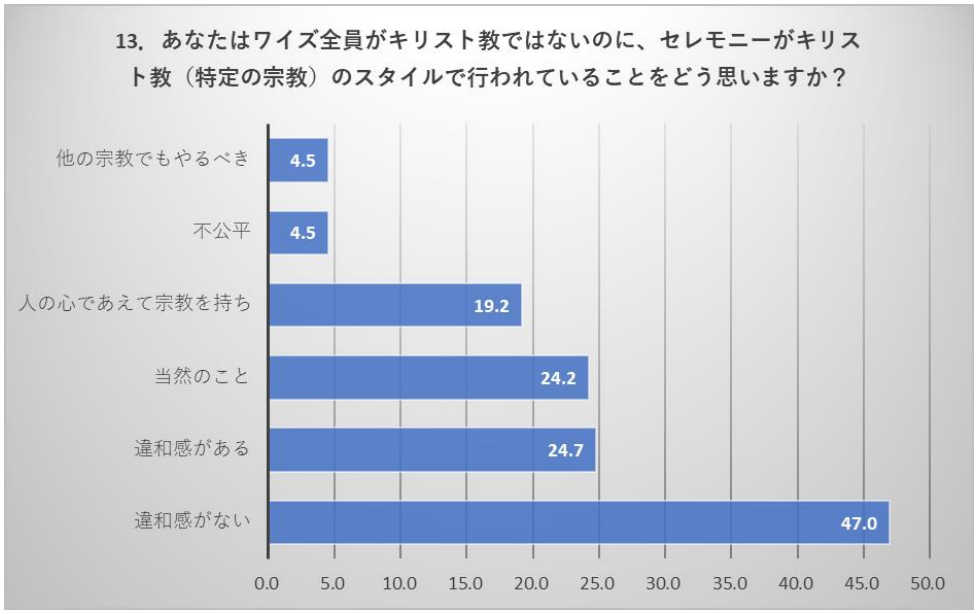
11．あなたはワイズの諸活動、行事にキリスト教の儀式（聖書朗読、祈祷、讃美歌）が必要と思いますか？

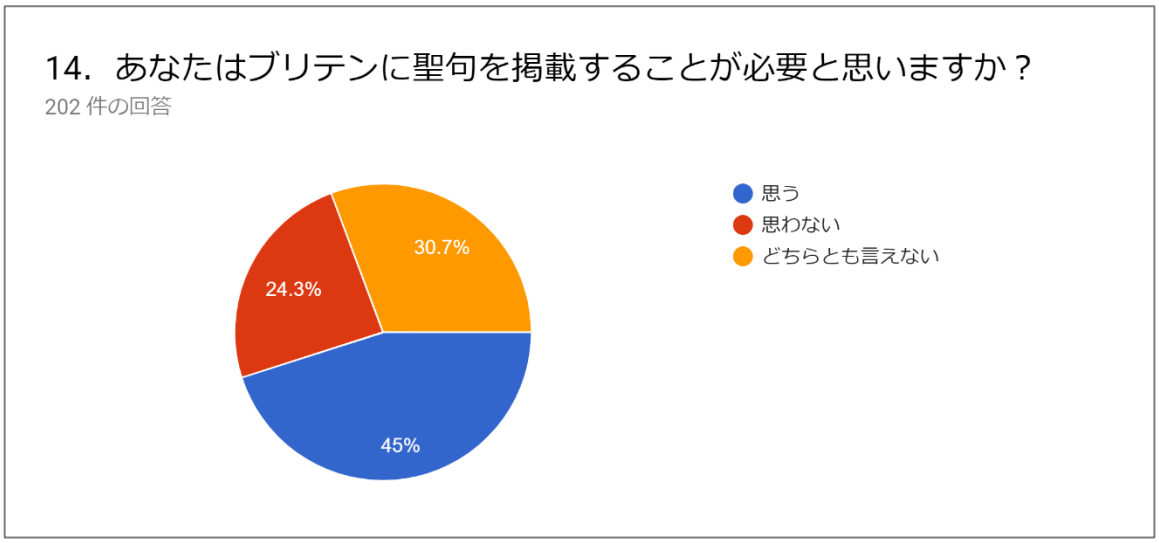
204 件の回答



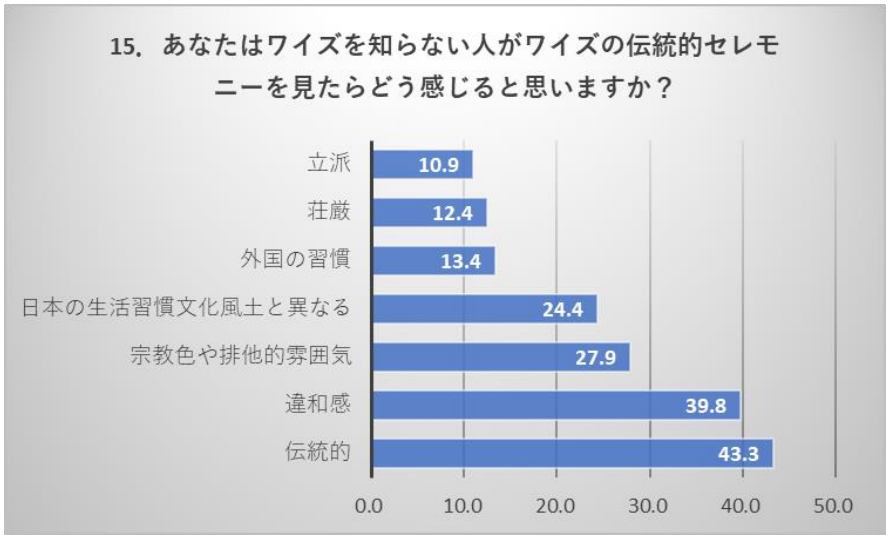

12-1. 思う場合、その理由は何ですか？
定款・規則で定められていない
4.
会員増強の妨げになる
6.7
会員増強の役に立つ
9.0
不文律である
12.4
キリスト教徒が多い
18.0
全員がキリスト教徒と言うことでは…
22.5
伝統
53.9
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0


12-2. 思わない場合、その理由は何ですか？
キリスト教徒が多い
2.6
不文律である
3.9
会員増強の役に立つ
6.5
伝統
7.8
定款・規則で定められていない
10.4
会員増強の妨げになる
57.1
全員がキリスト教徒と言うことでは…
79.2
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0

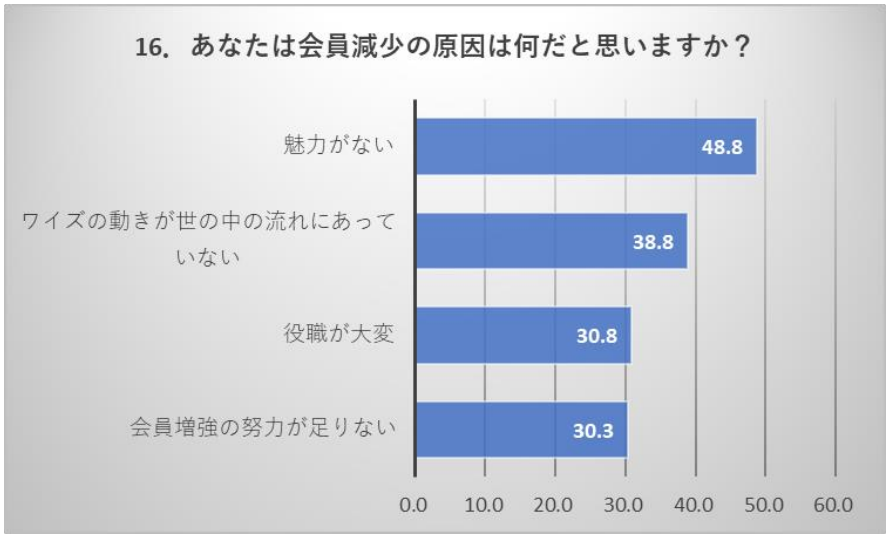

13. あなたはワイズ全員がキリスト教ではないのに、セレモニーがキリスト教（特定の宗教）のスタイルで行われていることをどう思いますか？
他の宗教でもやるべき
4.5
不公平
4.5
人の心であえて宗教を持ち
19.2
当然のこと
24.2
違和感がある
24.7
違和感がない
47.0
0.0 5.0 10.0 15.0 20.0 25.0 30.0 35.0 40.0 45.0 50.0



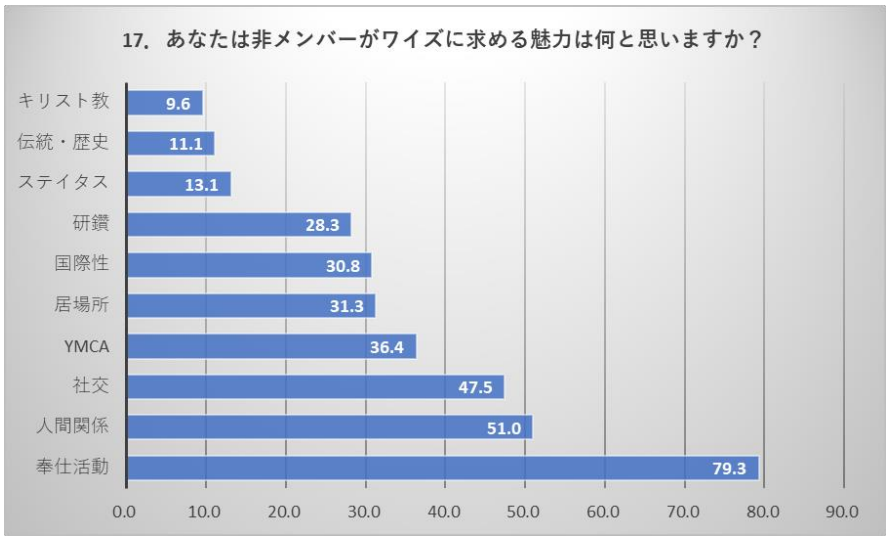
＜自分たちワイズが世間からどのように見られていると思うか＞



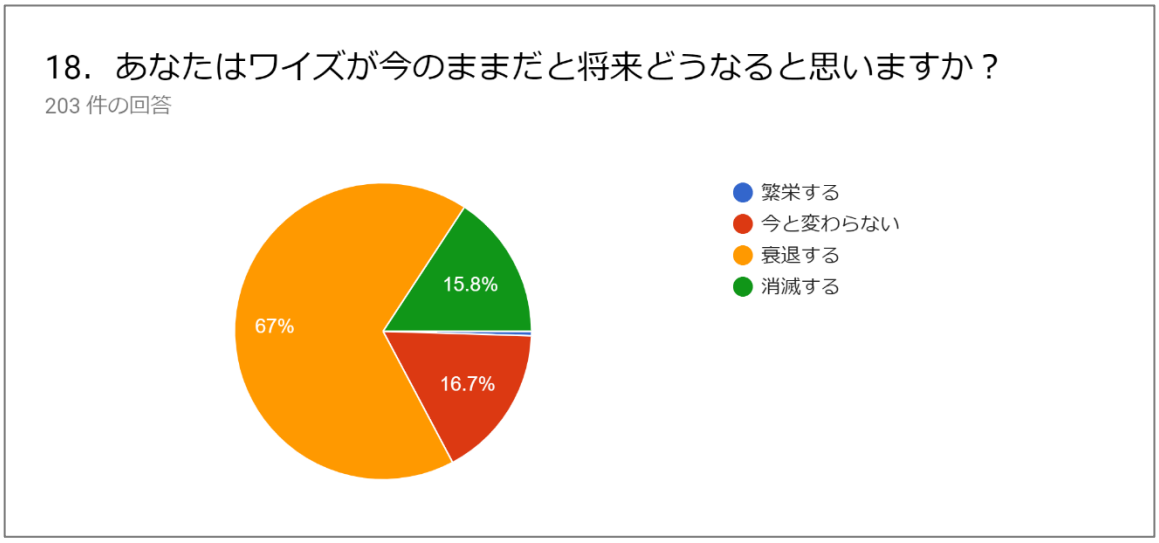
＜会員停滞、減少の原因＞

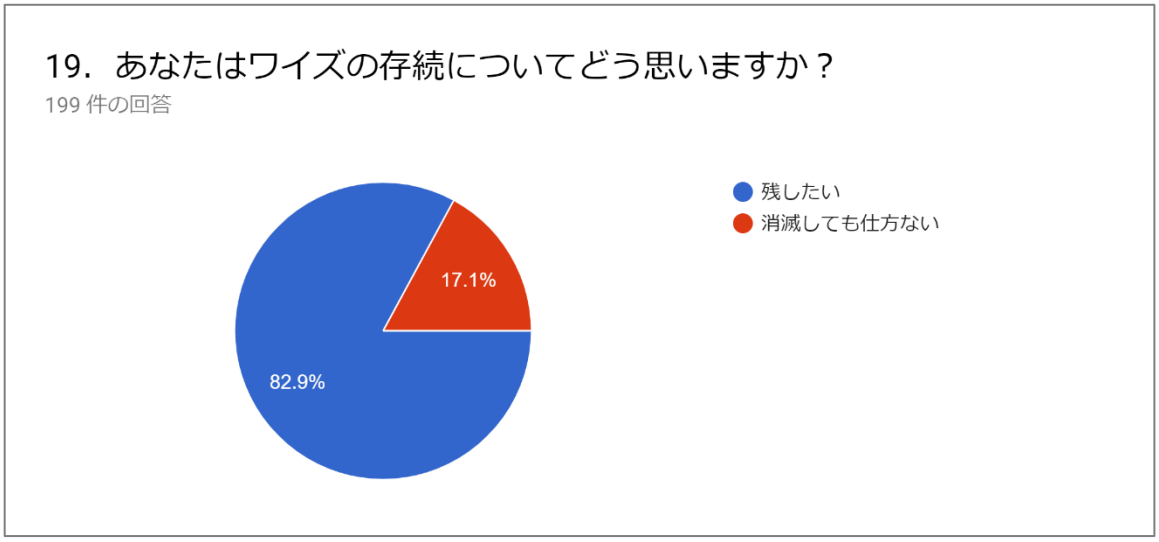


＜世間の人にとってのワイズの魅力＞



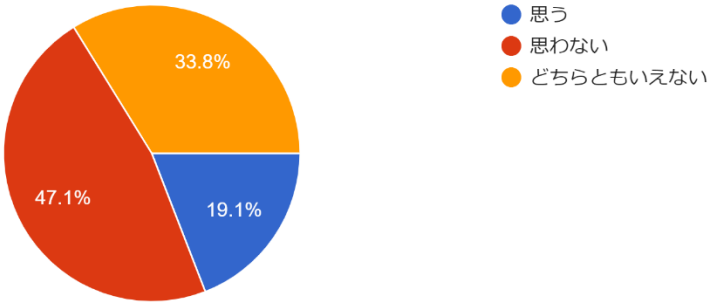
＜ワイズの将来について＞



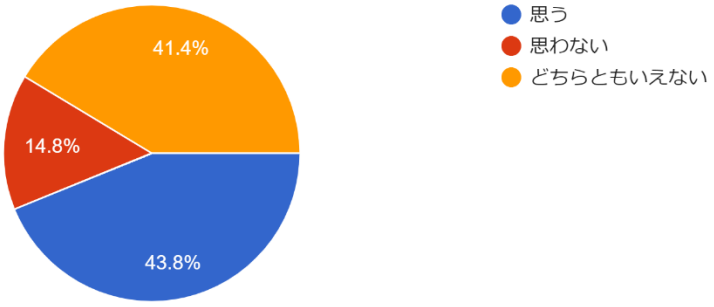


20. あなたは存続のためには、これから何も変えず、今の体制、組織、目的、政策、キリスト教的儀式などを維持していくべき（つまりワイズは変わるべきでない）と思いますか？

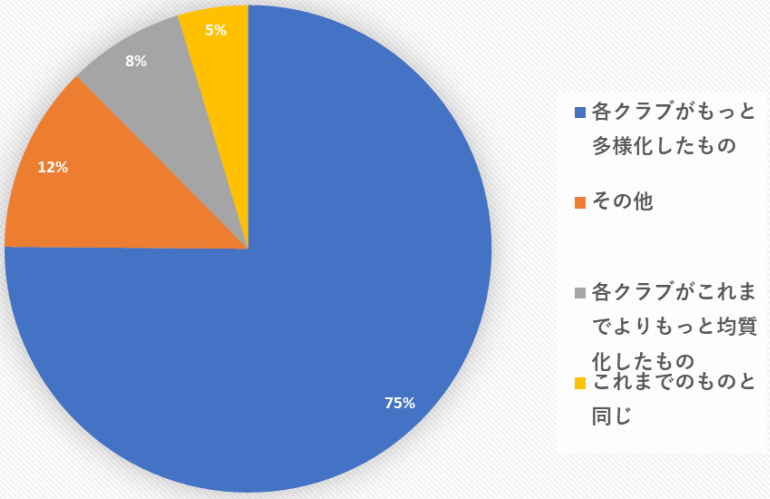
204 件の回答



21. あなたは存続のためには既存のものに固執せず、大きな犠牲を払ってでも、大胆にこれまでとは異なるワイズに変身するべきと思いますか？ 203 件の回答



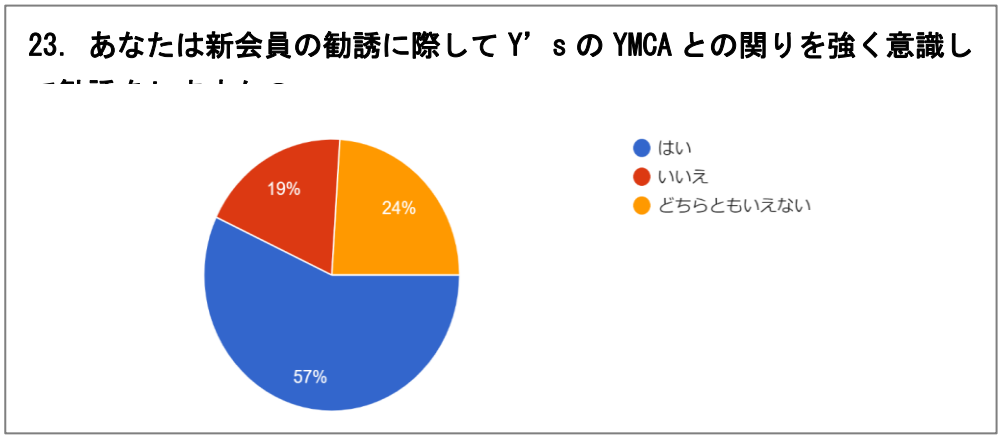
22.あなたは将来的どのようなワイズメンズクラブを期待しますか？

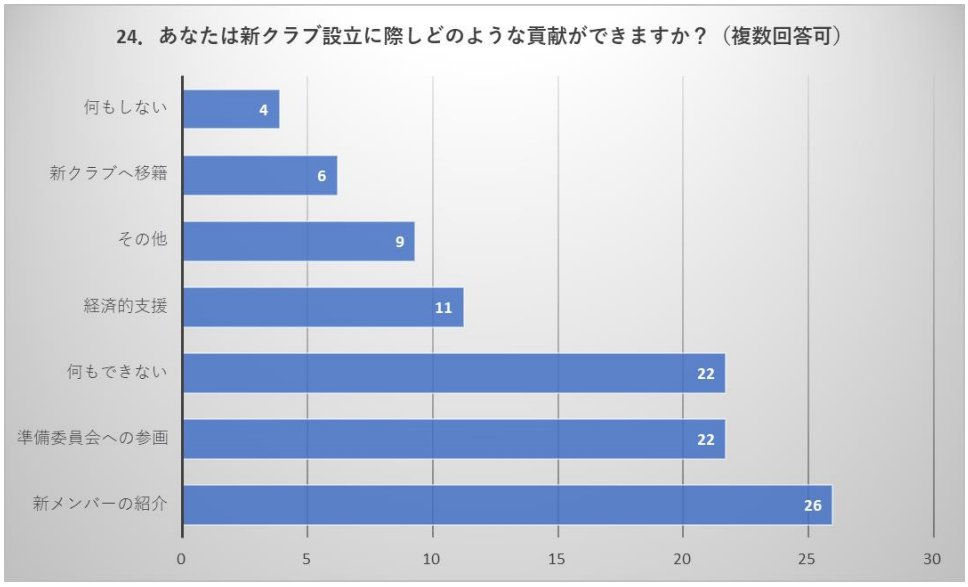


（その他の意見）

・YMCA がない地域では YMCA を設立する努力を始めてほしい
・YMCA が問題、地域奉仕を明確にし、Y's はこれへの支援を。
・YMCA と連携しつつ多様性があってよいと思います
・YMCA 活動との連帯
・キリスト教精神を生かす。
・キリスト教精神を徹底させること。
・クラブ数の拡大でなく、合併して数を減らし組織強化すべき
・ワイズの基本精神、伝統、国際的なつながりを理解をしたひとたちによるクラブ
・会議や書類が多すぎる。
・会費が安い
・金銭的に、またクラブ運営の負担の少ないクラブ
・国内外の交流。楽しいワイズ。奉仕。
・自分の心の豊かさにつながると良い
・質の高い、選ばれた方々で構成する必要あり、と思う。
・色々問題もありますが、YMCA から YS への人の流れの道を太く強く作る必要があると思います。
・新クラブを設立するより、合同を進め、活動を活性化させる
・新クラブを増やすのでなく、統合を進めて、力を結集すべき。
・真剣に地域に密着した活動をするクラブ
・組織の変革。ともかくスリム化する。
・地域に密着したクラブ
・地域ボランティア活動を通じてもっとイベント参加型の活動を意識し、地域のボランティア活動を通じてワイズの仲間を増やす活動が基本だと思う。
・東日本区を分割（部の独立）
・同地域の先輩方と親しくなり、人間関係が広がり深くなる事
・特に期待はしていない。求められる事に向き合えば残すべきもの、変えるべきものは見えるはず。

＜EMC 活動について＞

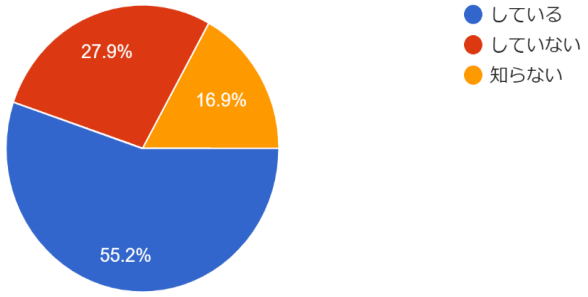




（その他の意見）
・YMCA の PR
・YMCA の素晴らしさを伝える
・お手伝い程度
・ケースバイケース
・沖縄クラブ、関内クラブ設立時に準備委員長を務め、私個人で 50 万円程負担したが大変嫌な思いをした。
・何をしていいか分からない
・拡大の時代ではなく、縮小集約して強い組織を創るべき。
・既存のクラブが衰退しているにも関わらず、新クラブ設立に重きを置くこと自体ナンセンスだと思う。
・新クラブの設立を推進するのであれば、Y's の存在価値や献金など見直してから行うべき。
・祈り
・協力できそうな身近な条件確認
・現在進行中
・現状で新クラブを設立しようとしても理解はしてもらえない
・雑用係
・事業/活動の企画
・自クラブの成長に時間を費やしたい。
・自分には、分不相応。
・自分のクラブの充実を目指すべき
・周囲にできそうになったらそこが必要とすること、もの
・新しいメンバーを探す努力
・多様な新メンバーが一つのチームになるダイナミックスの LT。
・知恵を出す
・特定は出来ないが、出来る範囲で協力をする。
・例会などへの積極的参加
・何人かが作る気があれば可能

＜ワイズドットコムへの登録＞

25. あなたはワイズドットコム（yscom@mld.nifty.com）に登録しています



＜自由記述＞

あなたがワイズの将来を考えたときに、今のワイズにつき、問題と思うこと、改善すべきと思うこと、また将来像につきご意見があれば自由にお書き下さい。

・C カラーを上手くカバーしてほしい。
・井の中の蛙大海を知らず的な古い人間が、我が物顔で推し進めるやり方は納得できない。
・高齢のメンバーの居やすい環境を守りながらも、若い世代が加われるシステムを構築すべきと思います。
・会費の減額、活動内容の整理と選別などがまず若者を呼び込むには大前提と思われます。
・ボランティアリーダーOB,OG、幼少年プログラムの保護者が入会する流れを作るということに本腰を入れるしかないと思います。
・クリスチャニテイー、事業及び献金の多さ、運営全体をもっとシンプルにすべきと思う。ワイズの目的を確認し共有すること。
・YMCA とワイズとの連携強化アップ。
・昨今のボランティア活動は SNS での呼びかけ、参加するのが主流になりつつあり、我々のようなボランティア団体も今の時代にあった立ち位置を見出すことが急務ではないでしょうか。
・地域におけるボランティア活動を推進。

・キリスト教色を少なくして、幅広く会員を募れるワイズになる事。
・役職に就く人間は金持ちでなければやれない。そのうちなり手がいなくなる。出世欲のようなものが見えて見苦しい。
・もっと地元の為に汗をかくべき。
・休まず例会に出席する。
・国際憲法第２条及びガイドライン 201 が変えられないのであればできるだけ日常の活動にキリスト色を薄めるようにする。変えられるのであれば別の Identity を作る。人道的なものある一定のことを応援するなど。
・もっと PR をすべき。
・地元とのかかわりを多く持つ。
・大小ではない。質が良ければ小で結構。
・先輩が自分のやり方を押し付けない。見栄を張らずに足元をみて地域に密着する活動に古い先輩も常に関わる。
・アジア太平洋、東日本区、東新部の活動を全面に押し出さない。
・地域の為に汗を流すことだけを考えてほしい。
・一部の人の出世欲か、ステイタスかわからないが、自分のクラブよりもそちらを優先する人々に呆れてしまう。長とつく役職にそれほどまで固執する理由がわからないし、地域の活動には何の関係もなく、失望する。
・本部への負担が大きすぎる。
・無駄な行事・役職の廃止　ペーパレス化。
・私は、ワイズに入会して悔やんだことは一度もありません。素晴らしい人たちに巡り会いとても感謝しています。入会以来ワイズだけの内内の活動ではなく、地域の人たちと交わりを持ち、また行政と連携を持ち活動を行うことにより、ワイズと YMCA の存在を知ってもらうことが出来るとの思いで発言し、行動もしてきました。例会では毎月、今の若者の感覚や世界のニュース話題などを楽しくスクリーンに映し出してお話をしていただいている会員の方もおられ、楽しいひと時を過ごしています。しかしながら会としての活動は多くありません。ワイズの信条 YMCA に尽くそうだけではなく、ワイズの存在を知ってもらうことが最優先だと思います。
・若い人たちに参加してもらえる活動が必要だと思います。
・上納金についても使われている中身が見えません。日本では寄付の習慣はあまり根付いていません。
・例会での食事は望ましいものではないと思っています。
・お金に余裕があり時間にも余裕がある人の会合と思われています。
・子育て中の年代に視点を合わせた活動も必要だと感じています。
・ボランティア馬鹿。組織の為の仕事が多すぎる。
・１増１減せずに１増０減で考えない前例踏襲と懐古主義の老害団体。
・組織の為の仕事やイヴェントを極力、そぎ落とし、会員が実感できる目に見えるボランティア活動を増やし、それを PR することで会員を増やすべき。又、YMCA センターと協力関係を密にすることで若者の未来を支援しているという実感を得ながら YMCA の看板を利用したボランティア活動を進めることで会員増員をはかる。
・当クラブは創立３０年が過ぎましたが、素晴らしい活動をしていたメンバーでも、次次期会長をお願いすると、別の理由をつけて退会してしまうのが殆どで、これがメンバー減少に繋がっています。
・ユースボランティアのＯＢがなぜ入会しないのかを真剣に考えることが必要。
・役員に対し会合出席と移動が重い労力と思います。連続役員が多い理由と思います。また会員一人一人が自分の子弟に紹介しても、紹介された人が YS に『入会しないだろう』『誘えないなぁ』と思ってしまう理由が、会員増強が果たせない一番イメージしやすい理由と思います。自分の子弟が『入会を希望する』には何が必要とされるか。各会員がそれぞれ持ち寄って、意見交換をされたら見えてくると思います。①紹介したか②紹介できなかったか③1 の結果は？④2 の理由は？⑤3 と 4 に向けた改善策が講じられるか？
・CS 活動に充実、キリスト色の後退。
・社会の信頼を得るための努力が欠如している。
・組織、事業実績、運営（人、物、金）の透明性と、組織のための組織は不要。広報の充実も必須です。
・働いている人、自分で動くのは限りあり。リタイア組が自分で動きすぎ。若い人はついて行く時間は無い。時間がないひとが存在感をもてるクラブにすべき。
・地域奉仕の充実とキリスト教色を少なくすること。
・青少年育成という大きな目標がある。これに向かって進んでいると思うが、この本筋から外れたことも同時に進んでいる。この事はどうしたらいいのかと思う。何とか一つにならないかなと思っています。
・必要な献金を積極的に励みたい。献金の額・氏名を知らせる。
・クラブごとにグループを作り会員数確保競争をさせること。
・どの宗教も人間の愛についてを基本としているので、YMCA の働きをよく理解して、ワイズに入会したが、仏教徒としての心はそのままにワイズライフを楽しんでいるので、キリスト色に染まったクラブ運営には心が疲れる。キリスト者以外の会員が多い組織でキリスト色を出すことが妨げになっている。
・そもそも青少年のために尽くそうという団体が、時代や生き残りのために老年者などｆｏｒ　ａｌｌをかかげるのはいかがか？
・サラリーマンで参画している人は、時間的制約があり奉仕活動に追われる事があり、奉仕をする事が負担に感じては本末転倒に思う。これも会員が高齢化で行事への参加もままならない事も要因＝会員が増えていない事が問題。
・ワイズが YMCA へ貢献する色合いの薄いクラブがあってもよいのではないかと思います。
・理事キャビネットは東日本区事務所で対応できるような体制にしたい。

・ワイズは YMCA をとうして社会貢献するとあるが、YMCA の職員はワイズにお金だけを求める傾向がある。YMCA の職員はワイズに対して礼儀に欠ける。協力したいが職員に拒否された。ワイズと YMCA の関わりに疑問を感じる。
・部、区の役員のなり手がいないということにすべてが集約されていると思う。なぜか、全てが、奉仕活動として個人による経済的、時間的負担を前提に運営されてきたからだと思う。年金族が大宗を占める今の時代に、もはやその考え方は、根本から改めないと組織の永続はあり得ないと思う。
・会費が高くて、一般庶民に強く勧められない。区への送金を減らす努力をして、会員の負担を減らすべきである。今の実情では金持ち、時間のある人の趣味的な活動としか思えない。
・今のワイズは、硬直的な組織でメンバーの多くが高齢であり若い人が入りにくい、あるいは入らない組織になっており、もっと若い人の考え方を聞いて変革していかない限り衰退してしまうと思われる。現に我がクラブも、メンバーの年齢が７０歳以上で、健康的にも活動が出来なくなってきています。そのためにも若い人の参加が絶対的ですが、現状のワイズには、若い人にとって魅力がないと思われるが、どの様に変化したら良いのかよくわからないのが、現状です。
・非会員が協力したくなるような事業を企画し行うこと。
・多くのクラブは、リタイヤした人ばかりになっている。50 代後半から 60 代前半の人は、社会的にも経済的にもゆとりがあると思うので、その世代をターゲットに会員増強を行う。
・ユース会員が少ない。
・会員増強は私たちの活動をより良く、強くするための手段であることを認識すべきである。
・YMCA 支援のための組織であること、イエスキリストの教え（隣人愛、自己犠牲）を軽んじてしまっては、もはやワイズメンズクラブとは言えず、別の組織を作ろうということと同じであり、危惧している。
・色々な問題点を指摘しても、解決にならない。出来ることをまずしっかりやることが重要だと思う。また上部機関を維持することが人材としても金銭的にも過重である。
・ＹＭＣＡが国際組織なのにダブっているようにも思う。より軽い組織に出来ないかと思う。キリスト教のこともバックにあることは認めるがそれを押し付けることはやめるべき。
・クラブの老化が進むのは避けられない。メンバーが歳とっても働けるようなクラブ運営を考える。午餐会のように例会時間をを再考する。シニアクラブを作ることもひとつ。設立当初のサンライズクラブのような早朝例会も一つの選択肢。
・居住地に近いクラブへの転会。
・YMCA の青少年をサポートする奉仕団体にすれば、YMCA の現在に姿そのもの、元気がなさすぎると思います。YMCA のアッピール不足等々、地域奉仕に YMCA が存在しない地域においては痛感しています。各地域にある青年会議所会員等へのアッピール運動等道はたくさんあるように思います。皆で頑張りましょう。
・組織をスリム化し、区費の軽減すべき。区大会も華美にならずに低金額の大会にすべき。
・YMCA とワイズとの強力な絆は人間で有ると思います。YMCA はワイズに人を送りこむ最初の人脈で、長い人生を送るには何が大切なのか。それは良き人間関係であると考えます。YMCA の会合にワイズも出来る限り参加し、又ワイズの会合にも YMCA 会員を招くことが必要だと考えます。
・会費削減。
・熱海方式で親睦第一的に。キリスト教を意識しない。活動を少し減らし、経費も減らし、負担を感じないようにする。
・勉強の場、研鑽の場とするようなプログラムを工夫する。
・いじめの問題を YMCA・ワイズで取り上げてほしい。
・新クラブが出来ても旧クラブが消滅していることに問題を感じる。
・地域にワイズ活動をアピールする方策を考えてほしい。
・ワイズがどのような活動をしているのか知らない人が多い。PR をする。SNS を利用する。ブリテンは郵送しない（郵送された他クラブのブリテンを見たことがない）　例会のマンネリ化。卓話の在り方、毎月行わずビップを招いて参加者を募る。クラブ対抗のイベントの導入。
・高齢化はクラブの大きな課題となっています。
・それぞれに個性を打ち出して、会員増強をすべきと考えます。その場合、各クラブの目的をしっかりと外に向かって知らせていくことが必要だし、例会内容や活動でそれを実行していくことが大切。
・YMCA のホテル、保育など YMCA に足を運んだ人数は莫大な数と思う。あらゆる場所にワイズのパンフレットを置いて、自由に持っていけるようにしたら、何かの折にワイズメンズクラブを思い出してくれるかもしれない。
・ＹＭＣＡと両輪となって社会のニーズを先取りした奉仕活動を模索すべき。
・今、ワイズだけでなく、グループに属するのを好む人が減っている？
・先駆者のことがないがしろにされているのではないか。と思いつつも、時代なのかなと。
・まず今のメンバーがワイズの信条を理解したうえで、本当に心からワイズを楽しむことだと思う。また、クラブ内のメンバーが楽しめるように一人一人が気を使って一緒に楽しむ。
・奉仕の PR が足りない。
・女性正会員の検討。長老会員はあまり出しゃばらない。汗出すか、知恵出すか、金出すか。日曜日のプログラムは作らない。会員数の減少はやむをえない。
・牧師を会員へすすめる（会費については考慮）。教職員入会にも配慮。教職員の定年後の YMCA 活動によき働き場を組む。
・前にも書きましたが、このアンケートは時間の無駄だと思います。
・ワイズの目的が何も見えない、今のワイズは、人に紹介出来ない、入会すると、意味のない役職と、金銭、時間がかかり費用対効果があるとは考えにくい。
・組織を前提とした取組から個人を前提とした取組へ変化すべき。

・会費が高い。支援するYMCAが遠い。YMCAへの献金は考える余地あり。
・ワイズメンズクラブの存在を多くの人に知ってもらい会員増強の一助になると良い。
・障害者施設への奉仕活動。大フリーマーケットを開催し売上金を寄付など。
・プロジェクトXの推進。
・ワイズ活動に誇りを持つことは大切。しかし、RCやLCに比べるとワイズはマイナーであると自覚すべき。ワイズは会議や提出書類が多すぎる。各クラブの自主性を重んじ、自主裁量に委ねるべき。
・ワイズの活動は素晴らしいと思うし、今後も協力したい。が、毎月の定例会の良さがわからない。会費を納めるのに定例会は必要だが、委員会の方が楽しめ充実感がある。
・現状維持の体質からの脱却。
・時代錯誤、盲目的な前例踏襲、多すぎる奉仕以外の組織の仕事、カルトチックな宗教色、こういった問題を考え直さないと未来は暗い。
・例会、各事業、企画等について、自発的参加を根本とし、強制力を弱めて欲しい。
・区、部、クラブの将来の在り方を焦らずに協議の時。
・若い青少年育成をしても、戻ってきていますか。青少年の育成の範囲があまりにも限られている。特殊活動部隊やそっと見守り部隊が有っても良いかも。
・YMCAを応援しよう。出来るだけ協働しよう。
・既存のクラブの統合を進め、新クラブ設立に向けているエネルギーを、各クラブの活動活性化のために用いるべきではないか。
・若い人たちを加入できるようにしたい
・上納金（国際）の使途が不明。　・上納金の金額は適正なのか。　・上納金が無ければ会費は安くなる。　・会費が下がればＥＭＣへと繋がる。
・社会的な認知度を高めるためにもワイズの法人化を検討すべきと思う。
・会議を全廃する。クラブ運営はプロジェクト制で行なう。会費をゼロにする。イベント（例会を含む）の費用はその都度集める。
・経済重視の今日だからこそ、クラブの存在が見直されると思う。魅力ある個人との関係を大切にしたい。
・ワイズの活動を発展させるには、良い意味でステイタスを上げるべきと考える。経済的に難しい場合、どうしてもクラブはそのレベルに合わせた会費の設定や、活動行動になってしまう。なのでステイタスに合致する会員で構成すべきで、叶うならばそのように淘汰されるのがベターと思う。
・私はクリスチャンですが、キリスト教を強調すべきでないと思います。
・日本人に国際的な活動をしているワイズダムを日本の人にアピールしたいです。
・いまの会費ではお誘いするのが難しい。
・年齢の幅広い参加を目指したい。
・2020年のXマス例会で40周年になる。それを最後にクラブが終了します。
・Ysの名前を地域にどのように広めていくか。
・ワイズ国際憲法やガイドラインのキリスト教記載をもっと自分のこととして再認識すべき。支えるべきＹＭＣＡのパリ基準等を再認識すべき。
・キリスト教色を軽減する方向なら即刻退会する。ワイズの原点を失ったら存在の意味はない。ブリテンやロースターを廃止、または半減するくらいの決断が必要だ。
・YMCAのブランティングを、Ysの活動に反映する工夫が始まるべきだと思います。
・YMCAの存在感を高める。YMCAへの参加がワイズへつながる
・身の丈に合った例会、部大会の開催。
・YMCAに係る奉仕に生きがいを感じている。
・「クラブの会員は、YMCAの会員になるものとする」から「会員になることが望まれる」とすれば、勧誘しやすくなる。
・会員増強は必要とは思うが、少人数でも充実したクラブが多ければ意識も上がるのでは無いでしょうか？
・キリスト教色とキリスト教精神とは違う。キリスト教色があるから会員が集まらないのではなく、キリスト教精神を生かし切れていないので会員が集まらない。
・ワイズに慣れ親しんだ（ワイズ歴の長い）一部の人達と、比較的ワイズ歴の浅い人の間に大きな乖離がある。古い伝統（Christianiutyは伝統ではなくバックボーン）に固執することなく、誰もが闊達に活動に参加できる仕組み、雰囲気作りが必要。
・神奈川の場合だが，余りに高齢化し過ぎてしまった。この中にいきなり若者を入れるのは難しいであろうから，６０前後の人をまず増やし，そこから少しずつ下の世代を誘っていく方が現実的かもしれない。
・このアンケートに関して言えば、キリスト教色が強いことを問題視するような設問作成者の意図が感じられ、残念に思いました。正直、残念ですがまだまとまった見解をまとめられません！
・将来像：ワイズの活動を理解でき、YMAC、地域との活動を行い継続して仲間＝会員たちの集まりが宗教にこだわる事なく活動できるワイズでないかと思う。